

	困っていること	具体策
家	物を投げる	危ないものは手の届くところに置かない。気を紛らわす。投げても良いもの（折り紙や新聞紙を丸めたもの）を渡す。
	噛み付く、引っ掻く	噛んでも良いもの（タオル、クッション）を渡す。気を紛らわす。
	家での時間を持て余す	本人のスペースを作る。押入れ？専用のカーテンで仕切る。薄暗い部屋が望ましい。
		おもちゃは常に全部出さずにローテーションで出しておくものを決める。
	人の瘡蓋や絆創膏を剥がす	絆創膏を貼るところを見せない。瘡蓋を見せないように、意識させないようにする。
	テレビ、巻き戻しを何度も要求する	テレビを極力見せないようにする。
	姉のものにイタズラする	姉と部屋を別にする。大事なものは棚に必ず収納し鍵を閉める。
	歯磨きの際動画に注視せず早送り巻き戻し操作ばかりする	スマホを必要としない方法を考える。歌を歌うとか。但し、歯磨き＝スマホが定着しているので直ぐには難しい。
外	ツバを吐く	唾を吐く時の状況や吐く相手をよく観察して、要求や思いを汲み取る。まずはそこから。
	病院で騒ぐ	掛かりつけの病院をお願いをし、定期的に病院で診察してもらう練習をする。
	お店のレジで並べない	本人にストレスがかかる環境なら連れて行かない。
	車で騒ぐ（テレビDVDが原因のことが多い）	車からテレビを無くすか？
	駅のホームで騒ぐ、特急急行が通過すると乗れないと怒る	気を紛らわすものを用意する。あまり早くホームに行かない。
	自転車で踏切待ちをするときに騒ぐ	踏切を通らない経路で行く。後部座席に好きなグッズを紐で括り付ける。
保育園	片付けの切り替えが出来ない	お片付けの歌を歌って徐々に片付けが出来るように促す。タイマーを使う。数を数える。
	物を投げる	危ないものは手の届くところに置かない。気を紛らわす。投げても良いもの（折り紙や新聞紙を丸めたもの）を渡す。
	先生を噛む、引っ掻く	噛んでも良いもの（タオル、クッション）を渡す。気を紛らわす。

<対策>

- 家での構造化⇒遊ぶ場所などを決めて、本人が落ち着くスペースを作る。そのスペースはリビングとは離れた方が良い。
- イレギュラーなことや予想が付かないことにはストレスがかかるため、練習が必要になる。
- 練習で克服できるものと無理にさせない方が良いものがある。避けないといけないこともある。
- 練習が出来ることについては練習した後に必ず褒美（お菓子など）を与えて本人が頑張るメリットを感じるようする。
- 騒いだ時のための取って置きのアイテムをいくつか用意する。それは普段は使用しない。
- 気を紛らわすものとして、家用、外に持ち歩けるもの、保育園で使えるものがそれぞれ必要。
- ヘッドホン、イヤーマフの使用
- 「ダメ」と無理に阻止するとエスカレートするので、ダメ！ではなく、○○しよう！と促す。
- 耳からの情報が入りにくいので視覚で伝える。絵カードや写真を利用する。
- 問題行動を起こしたときは大人が過剰に反応しない。逆効果になる。無反応にする。
- ハサミ、包丁などの刃物は絶対に手の届かないところに置く。

☆好きなもの、好きな遊び☆

フワフワしたもの（毛布など） トーマス、トトロ、ポニョ、トイストーリー、モンスターズインク、ウルトラマン、ポケモン、ミッキー、シルバニアファミリー、忍たま、サザエさん、まるちゃん

感覚遊び（紙を上からパラパラする）・物を並べる・おままごと・トランポリン・風船・本を見る・押入れに入る